

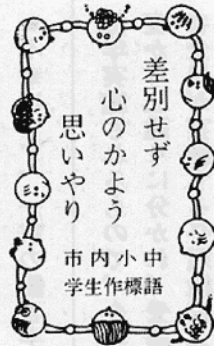
行政相談委員は みなさんの身近な相談役

国の仕事によって不利益を被った、役所の事務処理が間違っていると思うが……。このような行政に対する苦情や疑問が生じたとき、たいへん心強い味方となってくれるのが「行政相談委員」です。

委員は、国の行政に関する相談を受けると、必要な助言をしたり、関係行政機関に対し、適切な処置をうながしたりして、みなさんからの相談を解決していきます。

行政相談委員は「行政相談委員法」に基づいて、総務庁長官から委嘱されている民間有識者で、公平性や中立性を確保するため、法律によって、

- ① 守秘義務、② 政治的中立、③ 業務の公平な遂行が義務づけられていますので、安心して



てご相談ください。

行政相談を申し出る場合は、直接委員のところに出向かれても電話でも結構です。

十月十六日から二十二日までの一週間は、行政相談制度について広く国民の理解と認識を深めていただくため「秋の行政相談週間」を設けています。この事業の一環として、次のとおり行政相談を開催します。

◆行政合同相談

十月二十一日午前十時から午後三時まで、中央公民館
○日光市の行政相談委員
高野忠治氏（下鉢石町八一
九〇五四―〇〇一六）

文学碑めぐり17

清水比庵歌碑2

下野の国 巡礼札所第一番
日光清滝観世音 雨ほととぎす
九十三叟清水比庵



清水比庵は、本名秀。明治16年岡山県生まれ。昭和5年、日光町長に就任し、特に観光行政に尽くされた。昭和33年、初の日光市名誉市民。短歌の会「二荒」「窓日」を主宰。昭和41年（84歳）宮中歌会始めの召人を務め、昭和50年10月、93歳で亡くなりました。碑は、93歳の時の自筆で、昭和50年11月、星野利一氏が清滝寺境内に建立。

同和教育啓発

シリーズ⑦

(1)「解放令」の布告

江戸幕府が倒れ、明治維新が行われると、政府は「四民平等」を実施して、「士農工商」を廃止しました。そして、一八七一年（明治四年）に部落に対して「解放令」が出され、「穢多」「非人」の名称を廃止して、

制度的には身分差別はなくなりました。

しかし、差別はなくなり、そのうえ納税や兵役や教育の義務を負わされ、職業の特権を失った部落の人たちの暮しは、楽にならず一層きびしくなってきました。

「解放令」から「全国水平社」へ

「新平民」等差別をそのまま後に伝える記述もあり、これが差別を後に残す大きな問題となりました。

明治政府は一八七一年（明

(3)部落改善運動

一八八〇年（明治十三年）頃から始まった自由民権運動は、部落問題にも影響を与え、解放への思想に広がりが見られた。天賦人權説を説いた福沢諭吉や「新

民世界」という論文の中で部落解放を説いた中江兆民などは、中心的な役割を果たした。

そして、これに答えるように部落の中からも差別をなくすためには、物心両面にわたる生活改善が必要であるという声があがり、部落民の自主的な部落改善運動が展開されていきました。

そして、「大日本同胞融和の会」をはじめいくつもの組織ができました。

「同和教育問題の解決を」めざして「より